

平成23年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

青少年・文教課 (内線：7076)

1目 企画総務費

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)子ども・若者育成支援事業	1,049	0	1,049				1,049	
トータルコスト	3,445千円 (前年度0千円) [正職員：0.3人]							
主な業務内容	青少年育成に関する課題・対策の検討、青少年等の意識調査及び計画策定など							
工程表の政策目標(指標)	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

子ども・若者をめぐる課題に対応するため、平成22年4月に「子ども・若者育成支援推進法」が施行されたところである。こうした中で、21世紀を担う鳥取県の子ども・若者が健やかに成長し、能力を十分発揮できるよう支援するとともに、不登校やニート、引きこもりなど、困難を抱える子ども・若者たちが社会生活を円滑に営むことができるようにしていくことが重要である。

このため、鳥取県における子ども・若者を取り巻く現状や課題を整理し、取り組みの方向性を定めた「鳥取県子ども・若者計画(仮称)」を策定し、総合的な取り組みを実施する。併せて、日常生活では得難い体験の機会を提供し、次世代を担う青少年を育成する。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	予算額	内容
(1) 検討会による課題と解決策の整理	10	福祉、保健、就労、教育、矯正等の担当部局職員により構成する検討会を設置して、分野横断的に青少年育成に関する課題と解決策を整理し、青少年意識調査や計画策定に取り組む。
(2) 鳥取県青少年意識調査の実施	721	青少年や保護者など合計4,900名を対象にアンケート調査を行い、意識や行動の実態を把握し、鳥取県子ども・若者計画(仮称)の策定及び青少年が関連する施策の基礎資料とする。
(3) 鳥取県子ども・若者計画(仮称)の策定	318	<p>現行の計画等は策定から相当の期間が経過しているため、青少年をめぐる環境の変化に応じた見直しを行い、青少年施策に関する新たな指針とする「鳥取県子ども・若者計画(仮称)」を策定する。</p> <p>&lt;現行の計画等&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「とっとり21世紀青少年育成基本構想」(平成15年2月策定)</li> <li>「青少年の健全育成に向けた今後の方向性(青少年問題協議会の提言)」(平成19年8月策定)</li> </ul>
(4) 日常生活では得難い体験の機会の提供による人財育成	【別事業で計上】	<p>日常生活では得難い体験の機会を提供し、次世代を担う青少年を育成する。</p> <p>○中・高校生のための知的冒険事業(1,819千円) 中・高校生を対象に、学校や家庭ではできない体験の機会を提供することで興味・関心の広がりや学習のきっかけをつくる。 【体験の分野】郷土の自然・歴史、創作活動、科学 【方法】県内の大学に委託し、大学教員の指導の下で講座を実施</p> <p>○ものづくり道場支援事業(1,078千円) 鳥取大学が中心となって構成する「ものづくり協力会議」が、県内3カ所に設置した「ものづくり道場」で、子どもたちにもものづくりや科学技術を教えることができる指導者の養成の取り組みに対し支援する。 【支援の内容】ものづくり指導者の養成講座</p>